

東京駅周辺

17n1084野村直人

17n1088平井優斗

17n1034工藤大河

17n1085原田建人



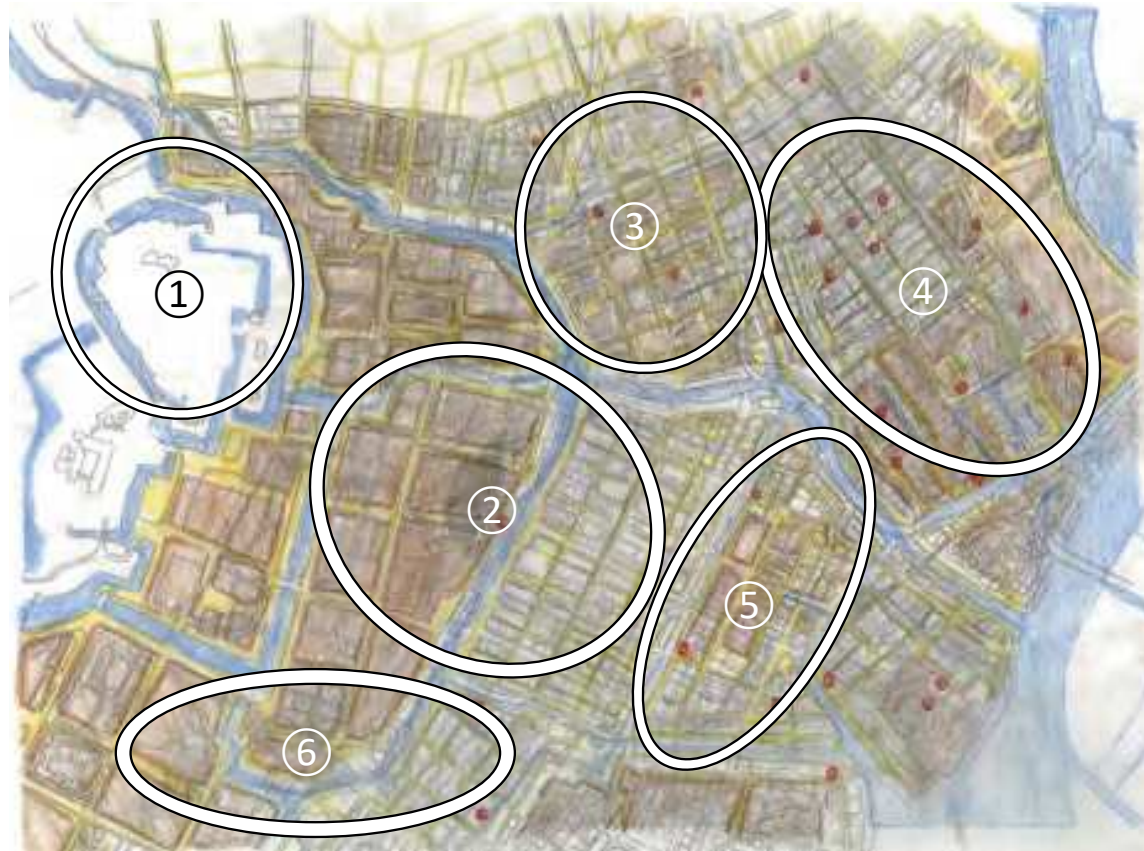
Theme:現代と江戸時代の都市構成の関係を解説し、東京の特質を見出す。

HOW : 東京駅周辺にある江戸時代から残り続ける建築と歴史の痕跡を探り、それを図面に起こすことで、東京のユニークさを発見する。



江戸と現代をプロットした地図

- ① 皇居エリア
- ② 八重洲エリア
- ③ 日本橋エリア
- ④ 人形町エリア
- ⑤ 八丁堀エリア
- ⑥ 有楽町エリア



赤：寺社

黄：道

青：川と沼

グレー：町家

茶：武家屋敷



中之門跡



皇居エリア



大手門



桔梗門



和田倉門跡



天守台



同心番所



百人番所



富士見櫓



大番所



常盤橋



八重洲エリア



一石橋



北町奉行所



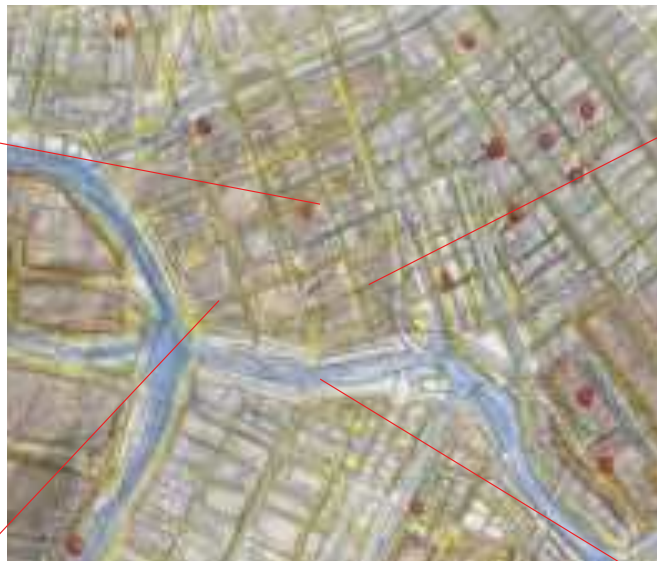
外濠石垣



福德神社



日本橋エリア



三浦按針旧居跡



金座(現日本銀行本店)



日本橋



人形町エリア

常盤稲荷神社



出世稲荷神社



三光稲荷神社



正一位橋神社



椶森神社

人形町周辺には寺社が多くあることがわかった





明星稻荷神社



小網神社



銀杏八幡宮



大観音寺



八丁堀エリア

日比谷稲荷神社



今村稲荷神社



日本橋日枝神社



玉円寺



智泉院



大原稲荷神社



鍛冶橋門跡



有楽町エリア



南町奉行所



日比谷見附



数寄屋橋跡



- ・丸の内のエリアは江戸時代は武家屋敷であったが、現代は大きなビル群になっている。

→これは武家屋敷の土地が広いため、ビルを建てるための広い土地が取りやすかったのではないか

- ・八重洲の元町人地の区画の面影を残しつつ、江戸時代から残り続けている店も見つけた。

→これは土地の所有者がそれぞれ別々だったからではないだろうか

- ・楓川、八丁堀、京橋川、外濠などの水路は埋め立てられ、運搬や交通手段として使われてたアクセスの特性上、首都高速道路となっているのではないか

- ・人形町の区域には寺社が多くあり、そこは元々湿地だったところを埋め立てた地であった。そこで水神様を祀るための寺社が多く出来たのだという

